

ネットワークカメラ

品番 BB-SC364



- 本書では、本機の、各ケーブルの接続、設置、設定の一部について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

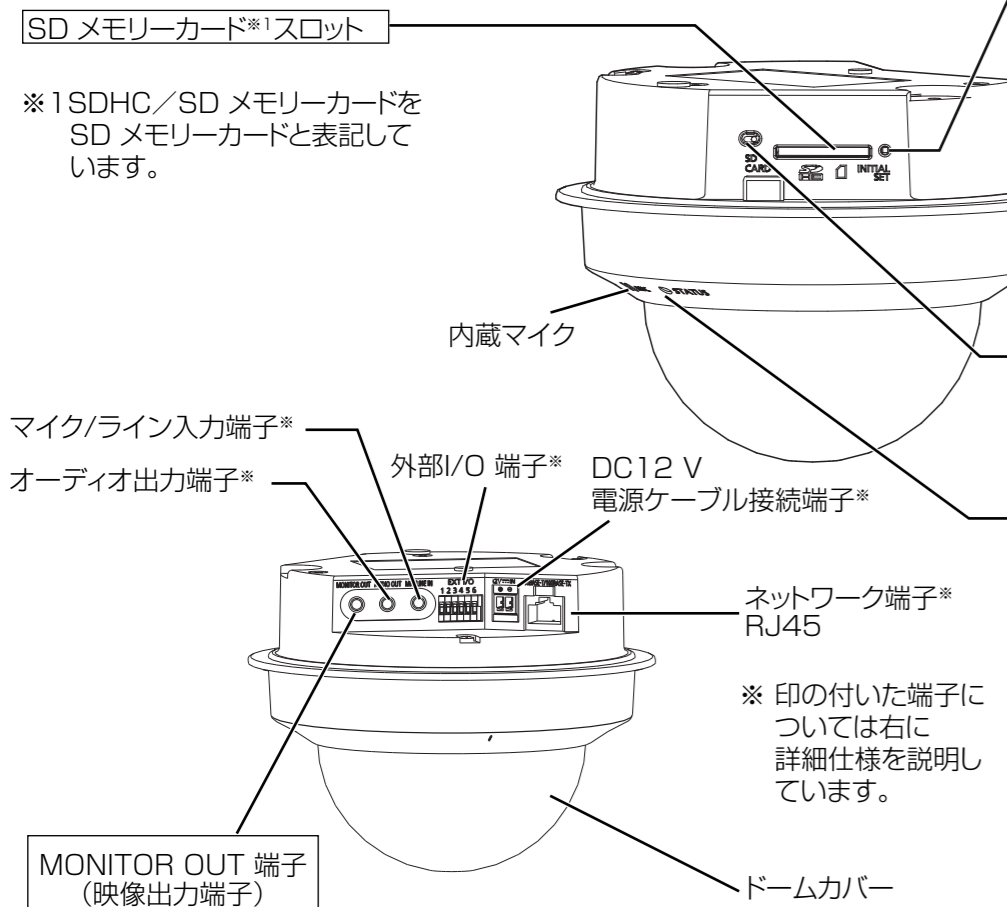
パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

PGQX1847UA avs0515-5010
Printed in China

各部の名前



サービス時に必要に応じてアナログモニターを接続して映像を確認します。

メモ

- アナログモニターは、サービス時に映像を確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用するアナログモニターによっては、画面上に表示される文字（カメラIDなど）が欠けて見える場合があります。

はじめに

本書では本機の接続から設置までを説明しています。カメラの操作や詳しい機能および設定のしかたについては、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

- Step1. 必要なものを準備する 付属品をご確認ください
- ↓
- Step2. カメラを接続する 各部の名前 接続のしかた
- ↓
- Step3. カメラを設定する カメラを設定する (裏面)
- ↓
- Step4. カメラを設置する カメラを設置する (裏面)

付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編 1冊 CD-ROM *1 1枚
取扱説明書 設置編 (本書) 1冊 コードラベル *2 1枚
保証書 1式 SDメモリーカードラベル *3 1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。
※3 本機の外観などに貼付けてください。

- 以下の付属品は取付工事に使用します。
- ④ アタッチメント金具 1個 ⑤ 落下防止ワイヤー (長さ約22 cm) 1本
⑥ エンクロージャー 1個 ⑦ ワッシャーA (大) *6 1個
⑧ ねじA *4 3本 (うち1本は予備ねじ) ⑧ ワッシャーB (小) *7 1個 (呼び径4×20 mm : タッピングねじ) ⑨ 電源用端子台 *8 1個 (呼び径3×10 mm : タッピングねじ)

- ※4 本体とアタッチメント金具の取り付け用
※5 安全ワイヤーの取り付け用
※6 天井側での安全ワイヤー固定用
※7 カメラ側での安全ワイヤー固定用
※8 電源用端子台はカメラ本体に付いた状態で付属されています。

INITIAL SETボタン (初期化ボタン)

- 初期化するには本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。
- ①本機の電源を切ります。PoEハブを使ってご使用の場合は、Ethernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルの端子の接続を外してください。
- ②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを5秒以上押し続けてください。INITIAL SETボタンを離してから約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵 (SSL暗号化キー) は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

SD CARD ボタン

SDメモリーカードへの録画の停止、SDメモリーカード単独録画の設定を行います。SDメモリーカード単独録画設定時のボタンの操作、ランプ部分の表示については付属の「SDメモリーカード単独録画機能について」(チラシ)を参照してください。通常時のランプ部分の表示については下の表を参照してください。

状態表示ランプ (STATUS)

ランプの種類と動作状態	ランプの表示変化
状態表示ランプ*2	
●ネットワークカメラが正常に立ち上がり、他の接続機器と通信可能になったとき	緑点滅 → 緑点灯
●「IP 簡単設定ソフトウェア」で、カメラの設定が完了していないか、もしくはDHCPサーバーからIPアドレスが取得できないとき	緑点滅 → 緑点滅のまま
●Ethernetケーブルが正しく接続できていないか、もしくはカメラが接続されているハブまたはルーターが正しく動作していないとき	緑点滅 → 橙点滅または点灯
●ルーターのUPnP™機能が無効になっているとき	緑点滅 → 橙点滅 (2秒間隔)
●カメラが故障しているとき	赤点滅
●SDHC / SDメモリーカードに書き込みできない	赤点灯
SD CARD ボタン (ランプ部分)	
●SDメモリーカード未使用時	消灯
●SDメモリーカード使用中	緑点灯
●SDメモリーカード認識中	緑点滅

※2 常時消灯したり、本機がネットワーク通信するときに緑点灯するように設定することもできます。詳しくは付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム (機器) の電源は切ってください。

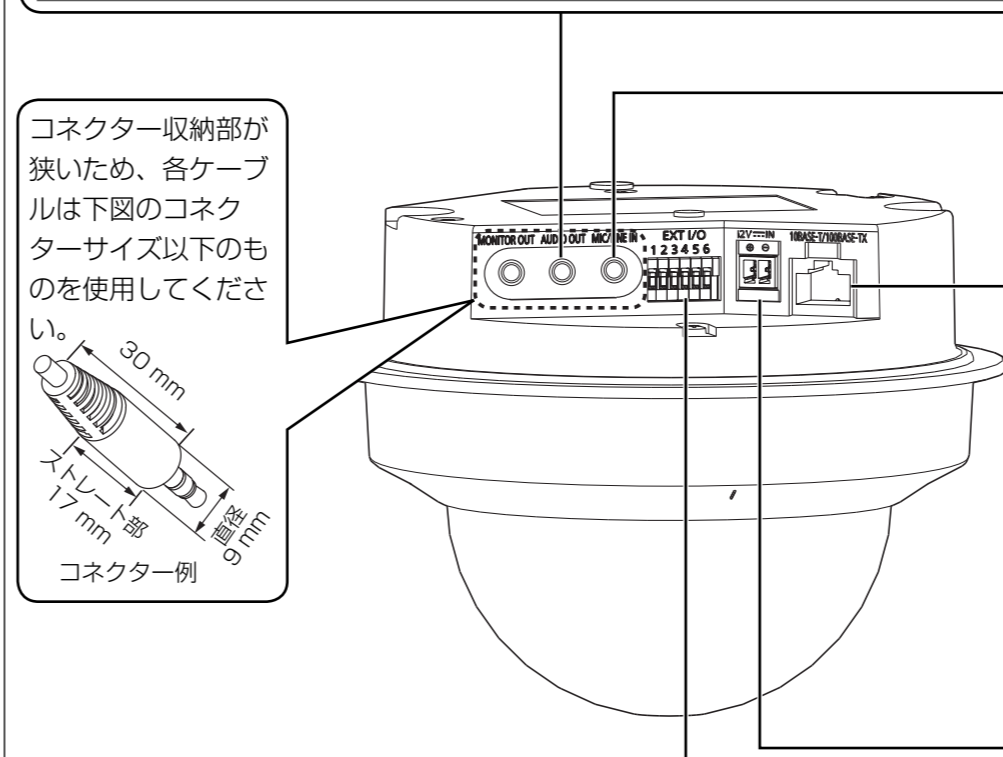
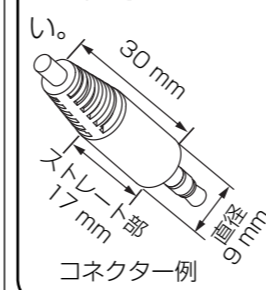
オーディオ出力端子とアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

- φ3.5 mmのステレオミニプラグ (出力はモノラル) を接続します。*
- 出力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡 ※アンプ内蔵の外部スピーカー
 - 推奨ケーブル長 : 10 m未満 を使用してください。
 - 出力レベル : -20 dBV

重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をONにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出る場合があります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

コネクター収納部が狭いため、各ケーブルは下図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。



アラーム入出力ケーブルを接続する

- 外部I/O端子に外部機器ケーブルを接続します。
- ①ケーブルの外皮を8 mm~9 mm切断し、芯線を露出させるよう加工し、より線の場合はよくよじって、外部I/O用端子へ挿入してください。線材仕様 : AWG 20~AWG 26単線もしくはより線。
- ②ボールペンの先などで接続したい外部I/O端子のボタンを押し、ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離します。

メモ

- 外皮を切断した芯線を外部I/O端子の奥に突き当たるまで差し込み、芯線がはみ出して、隣の端子とショートしていないことを確認してください。
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させて接続してください。
- 外部I/O端子のボタンを先点したもので、強く押さないでください。外部I/O端子のボタンの溝がつぶれて、戻らなくなることがあります。
- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off/入力端子/出力端子に切り替えることができます。外部I/O端子2、3の設定 (Off/アラーム入力/アラーム出力またはAUX出力 (外部出力)) については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

定格

- アラーム入力端子1、アラーム入力端子2、アラーム入力端子3
入力仕様 : 無電圧メイク接点入力 (DC4 V~5 Vプルアップ内蔵)
Off : オープンまたはDC4 V~5 V
On : GNDとのメイク接点 (必要ドライブ電流1 mA以上)
 - アラーム出力端子、AUX 出力端子
出力仕様 : オープンコレクタ出力 (外部からの最大印加電圧DC20 V)
Open : 内部プルアップによるDC4 V~5 V
Close : 出力電圧DC1 V以下 (最大ドライブ電流50 mA)
- ※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。外部I/O端子の設定については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- 外部機器用電源
電源電圧10.5 V~13 V / 電源出力100 mA

外部I/O端子部	ピン	機能
1 2 3 4 5 6	1	アラーム入力端子1
	2	アラーム入力端子2 / アラーム出力端子
	3	アラーム入力端子3 / AUX 出力端子
	4	GND
	5	GND
	6	外部機器用電源

外部I/O端子のボタン

重要

- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

マイク/ライン入力端子とマイクを接続する

- φ3.5 mmのモノラルミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス : 約2 kΩ 不平衡
 - 推奨ケーブル長 : 1 m未満 (マイク入力の場合)、10 m未満 (ライン入力の場合)
 - 推奨マイク : プラグインパワー方式 (別売) ●供給電圧 : 2.5 V±0.5 V
 - 推奨マイク入力感度 : -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)
 - ライン入力時入力レベル : 約-10 dBV

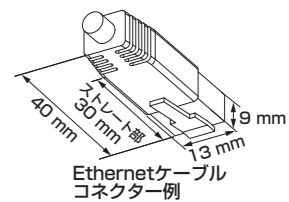
メモ

- 外部マイクを本機に接続すると、内蔵マイクでの音声入力はできなくなります。
- コードの長さや、マイクの特性によって音質が落ちることがあります。

Ethernetケーブル (カテゴリ5e以上) を接続する

メモ

- Ethernetケーブルは右図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。
- PCとカメラを直接接続する場合はEthernetケーブル (カテゴリ5e、クロス) を使用してください。それ以外の場合はEthernetケーブル (カテゴリ5e、ストレート) を使用してください。



重要

- Ethernetケーブルは4対 (8ピンすべて) を使用してください。
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、PoE給電装置が優先されます。
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 Vを切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され、本機が再起動する場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。

電源ケーブルを接続する

- ④電源用端子台 (付属品) にACアダプター (WV-PS16 (別売り) あるいは市販品) の出力ケーブルを接続します。
- ①電源用端子台のねじをゆるめ、ケーブルの外皮を3 mm~7 mmむき、芯線を露出させるよう加工し、より線の場合はよくよじって、電源用端子台へ挿入してください。(WV-PS16 (別売り) をお使いのときは、ケーブル先半田付け部分を除去してください)
- ②電源用端子台のねじを締めます。(推奨締付トルク : 0.34 N·m {3.5 kgf·cm})

メモ

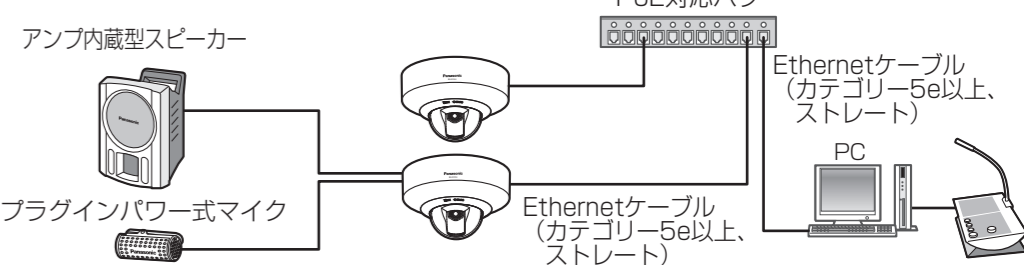
- 外皮を切断した芯線を電源用端子台の奥に突き当たるまで差し込み、線材の芯線がはみ出して、隣の端子とショートしていないことを確認してください。
- 外部電源を接続する場合は AWG 16~AWG 24 単線もしくはより線をご使用ください。

重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- 電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
- 電源用端子台は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格 (本体底面銘板に表記) を満たすACアダプターを使用してください。

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



重要

- ハブ、ルーターは10BASE-T / 100BASE-TX 対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

カメラを設定する

カメラ画像をPCで見られるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

[1] 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の案項に同意します。」を選択し、「OK」をクリックします。
- CDランチャーメニューが表示されます。
- CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。



[3] 設定するカメラをクリック (①) して、[カメラ画面を開く] をクリック (②) する。

メモ
[Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面にカメラが表示された場合は、設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



[4] 管理者登録画面が表示されたら、管理者のユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックする。認証画面が表示されたらユーザー名、パスワードを入力する。

カメラのライブ画面が表示されます。

- メモ
- 動画を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールする必要があります。「プラグインソフトウェア」ボタンをクリックしてインストールしてください。
 - カメラを使用する前に、「設定」の「基本」画面で「日付時刻」の設定を行ってください。
 - IP 簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります (IP簡単設定の有効期間の設定が「20 分間」の場合)。ただし、初期状態のカメラは約20 分経過後も変更することができます。
 - 画像が表示されない場合は、ウェブブラウザを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照ください。<https://sol.panasonic.biz/security/netwcam/support/info.html>

[5] 「みえますねっと」サービスの登録画面の案内に従って、登録を完了する

詳細は「みえますねっと」のウェブサイト (<https://panasonic.biz/cns/miemasu/>) を参照してください。

- メモ
- 登録したカメラのURL が有効になるまでに、最大で30 分くらいかかる場合があります。
 - カメラの「メンテナンス」の「ステータス」画面の「みえますねっと」で登録状況を確認することができます。
 - 「カメラURL」に「みえますねっと」サービスで登録したURL が表示されていない場合には、カメラを再起動してください。
 - 登録に失敗したときは、付属CD-ROM 内の取扱説明書 操作・設定編：「故障かな!？」を参照ください。

[6] 「みえますねっと」サービスの登録が完了したら、登録画面内の「ユーザーポータル画面を開く」をクリックし、登録したEメールアドレスおよびパスワードを入力してログインする。

ポータル画面でカメラのライブ画面が表示されます。

[7] インターネット経由でアクセスできることを確認する

カメラと別のネットワークにつながっているPC や携帯電話または携帯端末で、設定メニューの「メンテナンス」の「ステータス」タブの「みえますねっと」に表示されるカメラのURL でアクセスできることを確認してください。

- インターネットにつながっている別のネットワークのPC で確認する
インターネットで使用：http://***.miemasu.net:ポート番号
- 携帯電話で確認する
携帯電話で使用：http://***.miemasu.net:ポート番号/mobile
- 携帯端末 (スマートフォン) で確認する
携帯端末で使用：http://***.miemasu.net:ポート番号/cam

- メモ
- カメラのライブ画面が表示されないときは、以下を参照してください。
⇒付属CD-ROM 内の取扱説明書 操作・設定編：「故障かな!？」
 - カメラへのアクセスを暗号化すること (HTTPS 機能) により、通信の安全性を高めることができます。
⇒付属CD-ROM 内の取扱説明書 操作・設定編：「HTTPS でカメラにアクセス」

カメラを設置する

設置の前に

カメラを設置する前に、以下の内容について確認してください。

- メモ
- 本機は水平な天井部分に取り付けてください。15° 以上の傾斜がある部分へは設置できません。

■サイディングや丈夫な木部に取り付ける場合

サイディングだけで (裏面が空洞になっている場所) 重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。必ず、サイディングの内側にある木部などの構造体で支持できる場所に設置してください。

■コンクリートの天井に取り付ける場合

市販のコンクリート用プラグボルト (ねじの呼び径4.0 mm、プラスドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは取り付けできません。取り付け前に、プラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、プラグボルトを取り付けてください。下穴を開けたあとは、削り粉を取り除いてください。

■ALC (Autoclaved Lightweight Concrete: 軽量気泡コンクリート) の場合
ALC パネルの種類・厚みなどによっては取り付けられない場合もあります。取り付けの前に、使用されているALC パネルメーカーにお問い合わせください。

< 取り付け可能な場合 >
必ず市販のALC 用アンカー (ねじの呼び径4.0 mm、プラスドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは取り付けできません。

< 取り付け時の注意 >
取り付け前に、アンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを取り付けてください。
ALC 用ドリルで下穴をあけたあとは、削り粉を取り除いてください。下穴の周囲部を防水シール材 (市販品) で防水処理してください。

■その他の天井 (モルタル・タイル材など)

住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカーを使って取り付けてください。石膏ボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

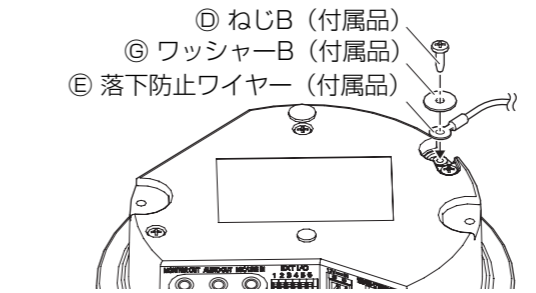
■天井埋め込み金具 (BB-HCA10・別売り) を使用して取り付けの場合
本機には落下防止ワイヤー (安全ワイヤー) を天井に固定するねじは付属していません。別途調達してください。

カメラを設置する (つづき)

設置する

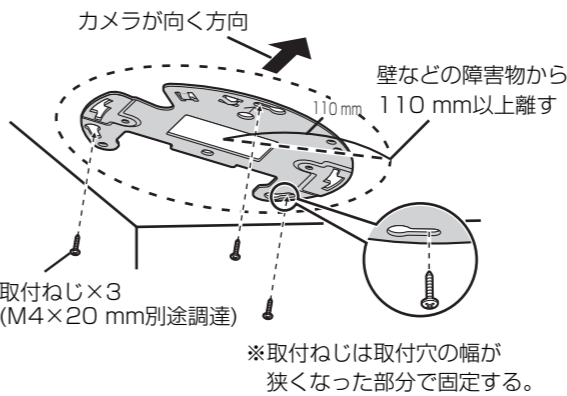
ケーブル類 (電源ケーブルのコード、イーサネットケーブルなど) の取り回しかたには、天井にケーブル用の穴をあけて配線する方法 <天井配線> と、天井に穴をあけずに配線する方法 <側面配線> があります。どちらかの方法で配線してください。

- [1] カメラに① ねじB (付属品) と ② ワッシャーB (付属品) で ③ 落下防止ワイヤー (付属品) を取り付ける (推奨締付トルク: 1.1 N・m {11 kgf・cm})



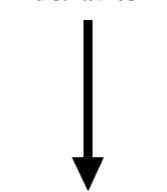
- [2] 取付ねじ (別途調達) で ④ アタッチメント金具 (付属品) を天井に取り付ける

- メモ
- アタッチメント金具の中心より110 mm 以内に壁などの障害物が無いようにしてください。
 - アタッチメント金具の「↑」マークが設置完了後のPanasonic ロゴ方向となります。



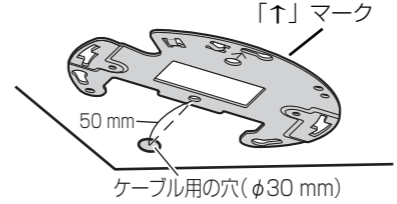
- 重要
- 取付ねじはM4 で長さ20 mm 以上、最低引抜強度294 N (30 kgf)/1 本あたりのねじを選択してください。
 - 取付ねじは天井の材質によって種類を選択してください。

<側面配線>



<天井配線>

- [3] ケーブル類を通す穴をあける
アタッチメント金具の「↑」マークと180° 反対の方向の、中心部から50 mm離れたところにφ30 mm の穴をあけてください。



- [4] 取付ねじを少しゆるめ、アタッチメント金具のみを反時計回りに回していったん取り外す。

設置する (つづき)

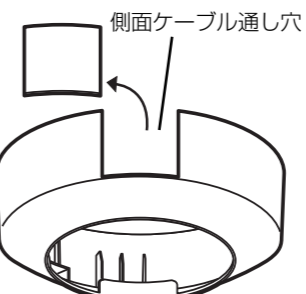
<天井配線>



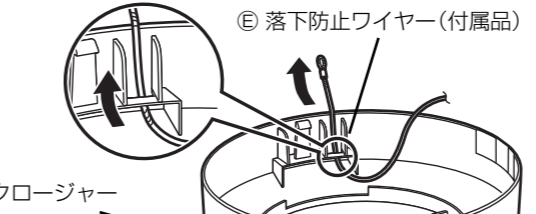
<側面配線>

- [9] ケーブル類をカメラの側面より引き出す場合は、⑧ エンクロージャー (付属品) の側面を加工する。
- ケーブルを露出配線するときは、エンクロージャーの側面ケーブル通し穴を加工し、側面からケーブルが出るようにしてください。

- 重要
- ケガ防止およびケーブル保護のため、側面ケーブル通し穴はエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。

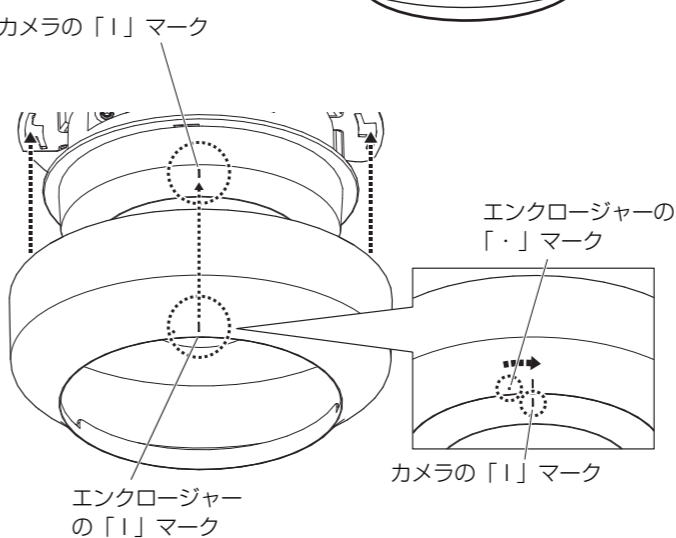


- [10] エンクロージャーに⑨ 落下防止ワイヤー (付属品) を通す。



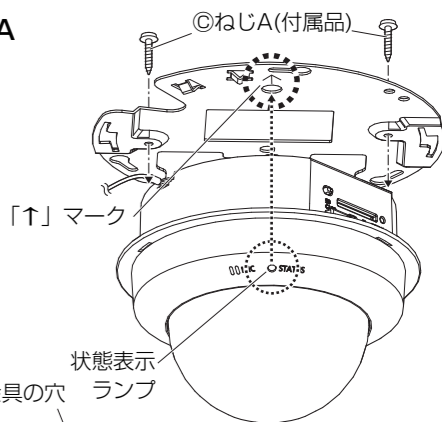
- [11] エンクロージャーにカメラを取り付ける。

カメラの「↑」マークとエンクロージャーの「↑」マークを合わせ、エンクロージャーをカメラに取り付けます。カメラの「↑」マークとエンクロージャーの「↑」マークが合うまで、エンクロージャーを時計回りに回し固定します。



- [5] カメラ底面にアタッチメント金具を⑩ ねじA (付属品) で取り付ける。

- カメラの状態表示ランプの向きをアタッチメント金具の「↑」マークの向きに合わせます。
- アタッチメント金具の凹部分2 か所をカメラ底面のねじ固定部に合わせ、ねじA (2 本) で固定します。
(推奨締付トルク1.3 N・m {13.3 kgf・cm})



- [6] アタッチメント金具の穴に落下防止ワイヤーを通す。



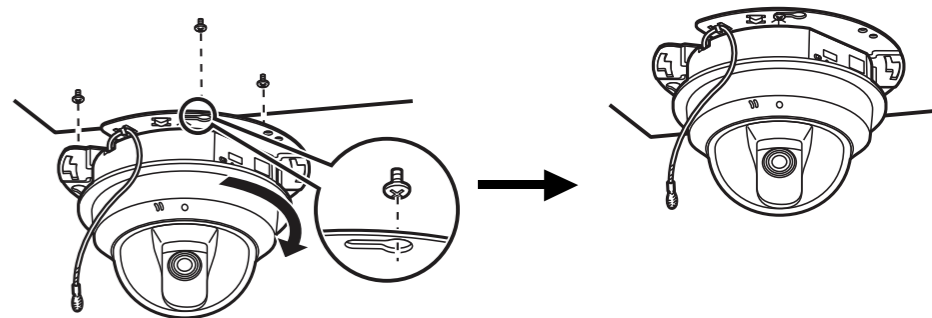
- [7] 「接続のしかた」を参照し、必要なケーブル類をカメラに接続する。

- [8] カメラを取り付けたアタッチメント金具を天井に固定する。

カメラを取り付けたアタッチメント金具の「↑」マークが前方になるようにカメラを向け、[2] で天井に取り付けた取付ねじとアタッチメント金具の穴位置を合わせて差し込み、時計回りに回して仮固定します。

取付ねじをしっかりと締め、カメラを天井に固定します。

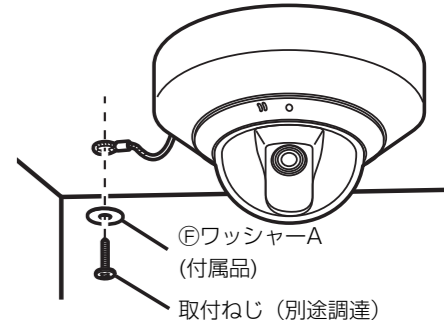
- メモ
- SD メモリーカードを使用する場合は「SD メモリーカードを交換する」を参照して取り付けてください。



- [12] 落下防止ワイヤーを天井に固定する。

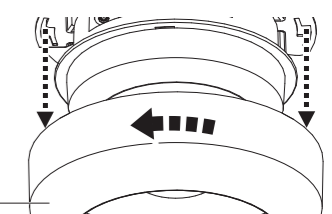
落下防止ワイヤーをたるませて、本体の左側に取付ねじ (別途調達) と⑥ ワッシャーA (付属品) で天井に取り付ける。

- 重要
- 取付ねじはM4 で長さ20 mm 以上、最低引抜強度294 N (30 kgf)/1 本のねじを選択してください。
 - 取付ねじは天井の材質によって種類を選択してください。



SD メモリーカードを交換する

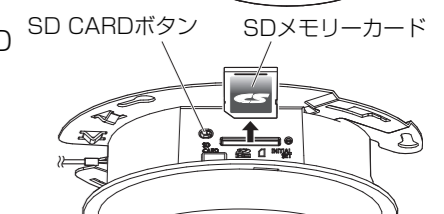
- [1] ⑧ エンクロージャー (付属品) を反時計回りに回転させ、カメラより取り外す。落下防止ワイヤーが天井に固定されていますので、エンクロージャーはワイヤーにぶら下がった状態になります。



- [2] SDメモリーカードを取り出す。

①SD CARDボタンを押して、SD CARD ボタンのランプ部分が消灯になったことを確認してください。

②SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットから取り出します。



- [3] 交換用のSDメモリーカードを取り付ける。

①交換用のSDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで入れて取り付けます。

- SDメモリーカードは、ラベル面を下側にして挿入してください。

②SDメモリーカードを挿入すると自動的に認識され、SD CARDボタンのランプ部分が緑点灯します。

- [4] エンクロージャーをカメラに取り付ける。「設置する」の [11] を参照してエンクロージャーをカメラに取り付けます。

